

宇都宮市立豊郷南小学校 第5学年児童質問調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○「授業では、自分の考えを発表する機会があたえられている。」と肯定的に答えた児童の割合は60. 6%で、県と比べて10. 7ポイント高い。児童は、授業において自分の考えを積極的に発表しようとする意欲をもっている。また「授業の中で、目標(めあて)がしめされている。」と肯定的に答えた児童の割合は72. 7%と高い。今後も見通しを持った学習ができるよう支援していきたい。

○「分からぬ国名や地名があつたら、地図帳などを使って調べている。」の質問に対して肯定的に答えた児童の割合は48. 5%で、市と比べて9. 9ポイント高い。児童は、様々な国や地域に興味・関心をもち、自主的に調べようとする意欲をもっている。

○「学級活動の時間に、友達同士で話し合ってクラスのきまりなどを決めていると思う。」と肯定的に答えた児童の割合は68. 7%で、市と比べて19. 5ポイント高い。また「学校のきまりを守っている。」と肯定的に答えた児童の割合は64. 7%と高い。学級の問題点や、やりたいことを児童が主体的に自分のことと思って話し合うことができている。今後も各教科において、児童が積極的に話し合う場を設けていきたい。

●「理科の学習は好きですか。」の質問に対して、肯定的に答えた児童の割合は47. 5%で、市と比べて13. 3ポイント低い。また、「理科の授業の内容はよくわかりますか。」の質問に対して、肯定的に答えた児童の割合は62. 2%で市と比べて5. 9ポイント低い。今後はICTを活用するなど、教材・教具を工夫したり、楽しい授業になるよう授業内容・展開を工夫し、児童が授業を好きになれるよう指導していきたい。

●「学校の授業以外に、ふだん、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。」の質問に対して、肯定的に答えた児童の割合は2. 0%で、市と比べて4. 3ポイント低い。図書室利用の時間を活用して様々な本を紹介したり、読み聞かせを行ったりするなど、児童が読書に対して興味・関心をもてるよう促していきたい。□

宇都宮市立豊郷南小学校（第4・5学年共通） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関する調査結果
・主体的・対話的な学習を通して、表現力を高める指導	・グループ活動やペア活動を取り入れたり、自分の意見や思いを相手に伝えたりする。また、自分の意見や考えを書いたり、相手に伝えたりできるようにする。	・4年生の「書くこと」の領域の正答率は、27. 1%で県、市の正答率と比べて、かなり低い。5年生の「書くこと」の領域の正答率は、34. 6%と市の正答率より8. 2ポイント低い。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
・条件をつけて書く設問に対して苦手意識を感じる。 ・どの教科においても解く時間が不十分であったり、無回答の割合も高いことから粘り強く課題に取り組むことが必要であると考えられる。	・書く機会を増やしたり、様々な自信をもって授業に取り組む。条件をつけて文章を書くことを積み重ねていく。 ・粘り強く課題に取り組む。	・文量や指定された言葉で文章を書く練習を行い、段階を追って文章を書く力を身に付けられるようする。国語だけでなく他教科でも書く活動を多く取り入れていきたい。 ・粘り強く課題に取り組むことができるよう、自己肯定感を高めたり、いろいろな課題に挑戦したりできるよう指導を続けていきたい。